

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
福岡市	金武地区	令和3年3月30日	令和5年3月24日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	231ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	141ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	94ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	70ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	11ha
(備考) ・地域の北部には、ほ場整備された農地が多くあり、主に米の生産が営まれているほか、大根、カブ、ブドウ等の生産が活発に行われており、地域内にある「かなたけの里公園」と連携し、青空市の開催や地元食材を使用した交流会の開催など、地域活性化への取組みが行われている。 ・イノシシや小動物による鳥獣被害が多く発生しているため、ワイヤーメッシュや電気柵の設置、また地域全体での箱罠設置による対策を進めている。	

2 対象地区の課題

- ・農家の高齢化が進んでいる。
- ・地域の担い手が減少している。
- ・有害鳥獣被害が続いている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・「金武農業振興連絡協議会」を中心に地区農業の発展について協議を行い、中心経営体への農地の集約化を進める。

4 3の方針を実現するために必要な取り組みに関する方針

- ・地域担い手による高齢者所有農地等の作業受託体制の構築を推進するとともに、新規就農者や担い手農家への支援体制の整備を推進していく。
- ・農機具の共同利用や機械利用組合の利用を推進する。

(参考) 農地の貸し付け等の意向

	農地の所在 (地番)	貸付け等の区分 (㎡)		
		貸付	作業委託	売渡
1	大字金武			1,100
2	大字吉武	1,108		
3	大字金武	1,530		
4	大字金武	1,077		
5	羽根戸	402		
6				
7				
	計	4,117	0	1,100

(参考) 中心経営体

属性	現状		今後の農地の引き受け意向		
	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	水稲、イチゴ、ブドウ	1.2ha	水稲、イチゴ、ブドウ	1.2ha	金武
認農	水稲、露地野菜	2.3ha	水稲、露地野菜	3.0ha	金武
認農	水稲、イチゴ	1.6ha	水稲、イチゴ	1.6ha	金武
認農	水稲、露地野菜	2.9ha	水稲、露地野菜	4.3ha	金武
認農	水稲、施設野菜、露地野菜	6.4ha	水稲、施設野菜、露地野菜	6.6ha	金武
認農	果樹、植木	0.9ha	果樹、植木	0.9ha	金武
認農	水稲、麦、露地野菜	5.7ha	水稲、麦	7.0ha	福岡市域
認農法	水稲、麦、露地野菜	29.2ha	水稲、麦、露地野菜	33.2ha	JA福岡市管内
認農法	水稲、ブドウ、施設野菜、露地野菜	6.9ha	水稲、露地野菜	7.4ha	金武
認農法	露地野菜	1.1ha	露地野菜	1.1ha	金武
認就	露地野菜	0.4ha	露地野菜	0.5ha	金武
認就	露地野菜、水稲	0.6ha	露地野菜、水稲	2.0ha	金武
安経	水稲、イチゴ	2.2ha	水稲、イチゴ	2.2ha	金武
安経	水稲、露地野菜	1.3ha	水稲	1.6ha	金武
安経	水稲、枝豆、カブ	3.4ha	カブ	4.2ha	金武
安経	水稲、花き	2.2ha	水稲、花き	2.2ha	金武
安経	水稲、施設野菜、露地野菜	2.6ha	露地野菜	2.8ha	金武
安経	露地野菜、ブドウ	1.3ha	露地野菜、ブドウ	1.3ha	金武
安経	ナス、カブ	0.5ha	ナス、カブ	0.5ha	金武
安経	露地野菜	0.2ha	露地野菜	0.2ha	金武
安経	露地野菜	0.9ha	露地野菜	0.9ha	金武
安経	水稲、受託組合	1.5ha	水稲、受託組合	1.5ha	金武
安経	水稲、露地野菜	1.5ha	水稲、露地野菜	1.5ha	金武
安経	水稲、露地野菜	1.6ha	水稲、露地野菜	1.6ha	金武
安経	水稲、露地野菜	0.0ha	水稲、露地野菜	0.0ha	金武
安経	水稲、露地野菜	1.2ha	水稲、露地野菜	1.2ha	金武
計		79.4ha		90.4ha	

注) 属性欄の「認農」は個人の認定農業者、「認農法」は法人の認定農業者、「認就」は認定新規就農者、「安経」は安定的な農業経営者を示しています。